

ひきこもり大学

KHJ全国キャラバン

千葉

ひきこもり 当事者の 社会参加を支える 枠組みづくり

日時

11/21(土)

申込
不要

14:00~16:30

(受付開始13:30~)

●会場 千葉市文化センター 9F会議室3・4

千葉市中央区中央2丁目5番1号
千葉中央ツインビル2号館

●定員 80名(先着順)

●参加費 一般1000円

(当事者無料)

司会進行

加藤順子

(フリージャーナリスト)

1 限目

ひきこもり世襲家庭学科

[テーマ] メンタル予備軍と思われる人と
遭遇した際の学校生活に及ぼす
影響

講師:金尾政和

プロフィール:昭和61年7月31日生まれ千葉県出身。高校一年途中で
登校拒否になる。

2 限目

セルフヘルプ学科

[テーマ] 当事者グループでの「語り」から
ひきこもりの意味を探る

講師:中田和夫

プロフィール:うつと対人恐怖・出勤拒否のため、大学卒業後新卒で入社
した会社を1か月で退職。その後20年ほど療養と短期アルバイト生活を
続ける。「自分は社会に適応できない」との思いから、1~2か月単位で自宅
から出られない時期を何度も繰り返す。精神科通院とカウンセリング、デ
イケア、(家族関係や社会生活で問題を抱えている人のための)自助グ
ループ参加により、少しずつ就労の機会を増やしてゆき、40代で再就職を
果たす。現在、神奈川にてひきこもり当事者のグループ「ひき桜in横浜」の
運営にボランティアで関わる。

3 限目

グループごとの対話と共有

2010年度の内閣府による調査で「ひきこもり」は全国で推計70万人と発表され、有効な解決策も見いだせないまま長期化や高齢化が懸念されています。

私たちKHJ家族会は、1999年の結成以来、外出できない当事者に代わり家族がつながることで当事者や家族の孤立を防ぐ努力を重ねてきましたが、ともすれば親としての思いが先に立ってしまい、当事者が望む支援とのズレが生じてしまうこともありました。

一方近年になって、様々な参加者が集まり対話する場「フューチャーセッション」や、ひきこもっていた人がその経験から得られた知恵などを講義する「ひきこもり大学」など、当事者が主体となる新しい動きが各地で生まれています。

この度、関東で対話の場を開いているグループと、関西で当事者主体の活動をしているNPOの協力を得て、ひきこもり大学を全国で開催します。

※フューチャーセッション庵IORIとは、「ひきこもりが問題でない社会」の実現を目指し、多様な立場の人たちが集まる対話の場。2012年から東京都内にて隔月で開催されています。

主催:NPO法人全国引きこもりKHJ親の会(家族会連合会)

共催:NPO法人KHJ千葉県なの花会

協力:ひきこもりフューチャーセッション庵-IORI-

【お問い合わせ】

KHJ親の会本部

info@khj-h.com

TEL:03-5944-5250

